

2017年9月6日

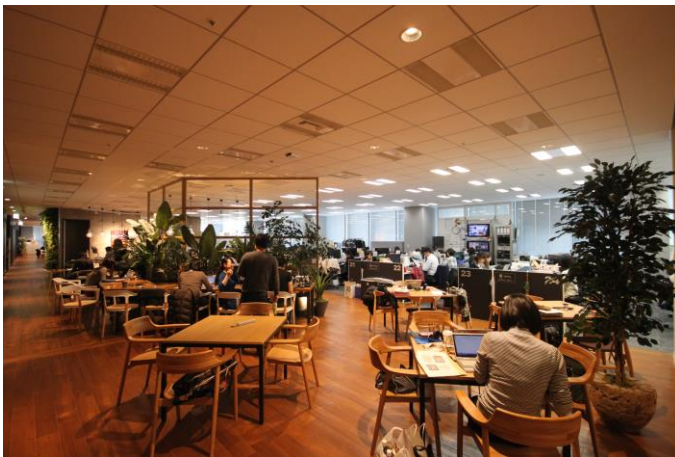
株式会社 リクルートホールディングス

## リクルート、快適で機能的なオフィスを表彰する『第30回日経ニューオフィス賞』の「ニューオフィス推進賞」を受賞

株式会社リクルートホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：峰岸真澄、以下、リクルート）は、日本経済新聞社と一般社団法人ニューオフィス推進協会（略称:NOPA）が主催する『第30回日経ニューオフィス賞』において、「ニューオフィス推進賞」を受賞しました。

『日経ニューオフィス賞』は、時代のさまざまなニーズにこたえるオフィスの普及・促進を図ることを目的とし、30年間にわたり日本全国における創意と工夫をこらしたオフィスを表彰しています。今回実施された『第30回日経ニューオフィス賞』では、平成29年4月3日から5月15日までの間に応募された総数129件のオフィスのなかから、リクルート本社オフィス 40階を含む16のオフィスが「ニューオフィス推進賞」に選出されました。

リクルート本社オフィス 40階は、リモートワークの推進に伴うフリーアドレス制の導入や部署を超えたコミュニケーションを醸成するオフィス作りが評価され、今回の受賞となりました。



「ニューオフィス推進賞」を受賞した リクルート本社オフィス 40階

※オフィス設計協力：フロンティアコンサルティング

### 株式会社リクルートホールディングス 執行役員 富塚 優のメッセージ

2015年より始動したリクルートの「働き方変革プロジェクト」の一環であるオフィス作りの取組みが、このような賞をいただき大変光栄です。評価いただいた審査員の方々に御礼申し上げます。

リクルートの働き方変革は労働時間の短縮にとどまらず、イノベーションの創出を加速させ、社会に新しい価値を届けることが目的です。そうした観点から、今回評価いただいたオフィスは、部署を超えたコミュニケーションを促進し、イノベーションを生み出しやすいオフィスを目指しました。

今後もイノベティブな環境から生まれる新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現を目指してまいります。



富塚 優  
株式会社リクルートホールディングス  
執行役員

### リクルートの働き方変革について

リクルートが企業理念に掲げる「新しい価値の創造」を実現するには、多様な個が持つ経験の融合が重要であり、個人が自律的に柔軟な働き方を実践することが重要と考えています。

リクルートでは、2015年4月に「働き方変革プロジェクト」を発足させ、イノベーションにより新しい価値を創造するため、場所にとらわれない働き方への挑戦や時間当たりの生産性を向上させる施策など、働き方変革に積極的に取り組んでいます。

リクルートホールディングスではこれからも、働く、学ぶ、住む、結婚、育児、旅、車、趣味や暮らし情報など、さまざまな場面でユーザーが新しい発見・機会創出できるサービスを提供し、一人ひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit.jp/support/form/>